



NPO法人篠山ナマステ会通信

2024(R6)年
3月31日発行

No.13
(通巻No.45)



顔の見える
ネパールとの
交流再開

久しぶりのネパールツアーです。初めて、韓国の仁川空港経由でカトマンズに到着しました。空港と前の駐車場はやっと国際空港らしく整備されています。

明るく、元気な
ラリグラス
女性グループと
懇談しました

日本の食文化を
紹介しました



空港でウロウロしていると「こちらですよ」と日本語が聞こえます。「宮崎で働いていました」「滋賀で働いていました」

日本におけるネパール人の人数は、近年着実に増加しています。在日外国人の中で、中国人が最も多いですが、ベトナムやネパールなどの東南アジアや南アジア出身者も急増しています。2012年当時のネパール人労働者数は24,071人でしたが、2022年には139,393人に増加し、今後2年あまりで倍増して30万人に達する見込みです。

ネパール人は様々な分野で活躍しており、特に介護職での受け入れが増えています。彼らは日本の高齢化社会において重要な役割を果たしており、その専門的なスキルと熱意が評価されています。

このような多様性と国際交流は、日本社会にとって豊かさをもたらすものであり、ネパール人の活躍分野が今後とも広がっていくことを期待しています。

代表理事 松本清一



セ小で学校運営委員会のメンバーと協議

サッカーボールと
跳び縄をプレゼント



元気なテクさん
店を開く



ラリグラス
女性グループと懇談



飼育する
山羊と水牛



SSS事務所で
ミーティング

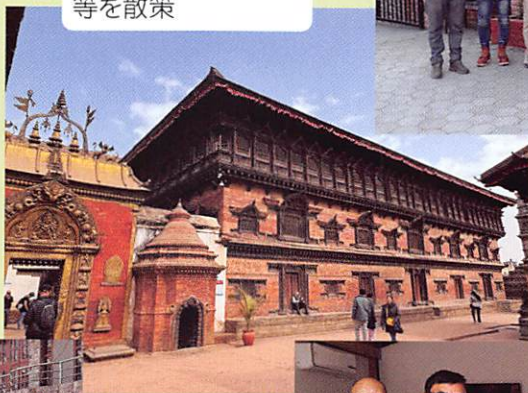
ネパール ツアーの記録

※詳細はFacebookで



ナムサ・ジャナ・セワ学校
で給食視察

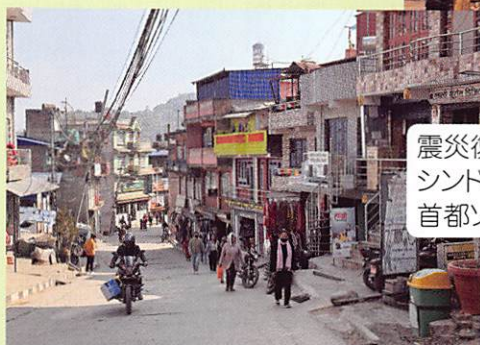
世界遺産バクタプル
等を散策



ヒマラヤを望む
ナガルコット



ゴパールさん
に再会



震災復興を遂げた
シンドバルチョーク郡
首都ソウタラ市



世界の人権課題を学ぶ イスラエル・ハマス紛争 ネパール人10人がなぜ犠牲になったのか？

特定非営利活動法人篠山ナマステ会 2023 冬号
世界の人権課題を学ぶ

イスラエル・ハマス紛争

ネパール人10名が なぜ犠牲になったのか？



世界中の誰もの人権が保障されて平和な生活が守られることが大切です。しかし、残念なことに今なお紛争が絶えません。今年の10月に激しくなったイスラエルとハマスの争いについては毎日のように残念なニュースが伝えられています。そして、10月7日にはイスラエル国内において大規模なテロ襲撃があり、ネパール人10名、タイ人30名を含む多くのアジア人も犠牲になりました。なぜ、母国から遠く離れた地で多くのアジア人が命を落とすことになったのでしょうか。難しい問題ではありますが、今の世界の現状から人権について考えます。

イスラエル国を支える入植共同体

イスラエルは、世界中に散らばっていたユダヤ人が現在の地に順次入植をつづけてきた国です。新しい土地に住むには、農地を開墾して村をつくっていく必要がありました。人々は、その際にキブツ(kibbutz)やモシャブ(moshav)と呼ばれる共同体、共同農場をつくりました。10月7日にハマスの大規模襲撃を受けたのはクファル・アザというキブツのお祭りです。キブツは日本の村とか町だと捉えられてもいいでしょう。



砂漠地帯であるイスラエルの食料自給率は9割

イスラエルには塩分濃度のとても高い「死海」と呼ばれる湖があります。このことから分かるように、イスラエルは雨が少なく農業を行うのも難しい乾燥地帯です。しかし、イスラエルの食料自給率は9割と言われています。世界に誇る農業技術を持つイスラエルですが、あえて高い自給率を維持してきているのはいつ戦争が起こるかかわからない紛争地帯に国があるからでしょう。



そしてその食糧のほとんどがキブツやモシャブといった共同農場でつくられています。

イスラエルの食料自給率を支えるアジア人

入植開墾で出来上がったイスラエルですが、いまでは世界最先端の技術と産業が盛んな国となりました。そのためにキブツやモシャブでの農業を支える人材が足りなくなってきました。そしてその不足を補うようにアジア、特にタイから多くの出稼ぎ労働者がやってきてイスラエルの農業生産を支えています。

ネパールの犠牲者は農業を学ぶ学生？

タイ人と共に襲撃の犠牲となった10人のネパール人は農業を学ぶ学生だったと報道されました。詳しく調べてみると、イスラエル政府が用意した「働きながら農業を学べるプログラム」に応募した人たちだったそうです。農業を学ぶプログラムは、指定された共同農場(キブツやモシャブなど)で働きながら農業技術を習得するそうです。たまたまなのかもしれませんが、今回の犠牲者の全てがネパールでもっとも貧しい西部地域の方でした。

農業だけでなく介護分野でも

襲撃当時、同じプログラムで働きながら農業を学ぶネパール人はイスラエル各地に200名以上いたそうです。

また、別に介護分野においても4,000名以上のネパール人がイスラエル社会を支えているとのことでした。

亡くなった学生たちの出身地ネパール西部では少し前に大きな地震がありました。ネパールの新聞では連日被害と被災生活の様子が報道されています。

私たちにできることは多くありませんが、世界の人々の様子を知り、想いを寄せるところからはじめましょう。

earthquake cause force more women to give birth at home



ネパール西部地震被災地で自宅出產の不安を訴えるネパールの新聞記事

少しの協力 ～フェアトレード～

日本においてもアジアの人たちにできることとして、篠山ナマステ会では「フェアトレード」の取り組みも行っています。フェアトレードとは、貧しい国の製品などを適正な価格で購買して現地の生活を応援する取り組みです。

篠山ナマステ会では、市内のイベントで販売ブースを設けてネパール女性の手芸製品を販売しています。

今回は、市民センターまつりでの販売を計画しています。是非製品を手にとって現地の人々の暮らしに思いを寄せてください。

篠山ナマステ会通信を紹介しす

また、篠山ナマステ会ではネパールを中心に現地の様子を通じてお知らせしています。ネパールの人々の暮らしやフェアトレードの情報を今後の通信に載せていきます。

通信は、会員に郵送させていただくほか、市民センター、図書館、市各公民館で手にしていただけます。



発行：特定非営利活動法人 篠山ナマステ会

法人番号2140005023377 兵庫県丹波篠山市中野129番地

篠山ナマステ会では現地NGOのSSSなどと協力して教育支援活動や女性グループ支援活動などを行っています。



市民センター
まつり

令和5年12月24日
丹波篠山市民センター

今年から年内に実施されることになりました。大変あわただしい時期です。

本会の活動を紹介しながら、ネパールグッズとネパール茶の販売をしました。「フェアトレードを学校で習った」という子もいて嬉しくなりました。

多くの市民の協力をいただきました。ありがとうございました。

2023年度 NPO法人篠山ナマステ会のあゆみ

- | | | |
|----|----|--|
| 月 | 日 | |
| 3 | 31 | 会計監査 |
| 4 | 8 | 4月定例理事会 |
| | 22 | NPO法人篠山ナマステ会総会・
篠山ナマステ会の歌発表 |
| 6 | 3 | 6月定例理事会 |
| | 13 | 篠山ナマステ会基金送金 |
| 7 | 8 | 7月定例理事会 |
| 8 | 6 | 8月定例理事会 |
| 9 | 2 | 第1回せや! フリマに行こう!! に出店 |
| | 9 | 9月定例理事会 |
| 10 | 1 | 広報紙「NPO法人篠山ナマステ会通信」
第12号発行 |
| | 22 | 虹の家ネパールフェスティバル参加 |
| 11 | 4 | 11月定例理事会 |
| 12 | 2 | 12月定例理事会 |
| | 5 | 「第24回人権フェスタin丹波篠山」に参加
ナマステ会人権啓発紙2023冬号発行
市民ホール「Gallery Event」参加(→10) |
| | 9 | 市民センターまつり交流会 |
| | 18 | ネパールツアー事前研修会 |
| | 24 | 市民センターまつり |
| 1 | 6 | 1月定例理事会 |
| | 19 | ネパールツアー実施(→24日) |
| 2 | 3 | 2月定例理事会・ネパールツアー報告 |
| 3 | 9 | 3月定例理事会 |
| | 25 | 3月臨時理事会 |
| | 31 | 広報紙「NPO法人篠山ナマステ会通信」
第13号発行 |



NPO法人
篠山ナマステ会



■事務局
〒669-2213
丹波篠山市
中野129

■ 会費や寄付金の振込口座案内 ■

- | | |
|------------|-------------------------------|
| ・三井住友銀行 | 392-3960328 |
| ・JPゆうちょ銀行 | 00930-7-332918 |
| ・JA 丹波ささやま | 店舗番号 7362-002
口座番号 0050991 |

案内

令和6年度総会開催について

日時 4月27日(土) 13時30分

場所 丹波篠山市民センター

記念事業

●ネパールツアー報告会

・ツアー概要

・ネパール支援の成果と課題

・今後の支援の方向性

賛助会員・協力会員の皆様お聞きいただきます。多数ご参加ください。